

ステップアップ助成金

2 がん患者サロン「しろやまざくら」(水戸市)、「ハマナス」(東海村) 「友部やまびこ」(笠間市)、「なでしこ」(水戸市)



サロン運営団体名称	NPO法人 茨城県がん地域医療を考える会		
サロン開設年月	平成26年4月		
開催日及び開催頻度	「しろやまざくら」 月1回 第3火曜日 (10:00~15:00) 「ハマナス」 月1回 第4木曜日 (11:00~14:00) 「友部やまびこ」 月1回 第1月曜日 (13:00~15:00) 「なでしこ」 月1回 第1木曜日 (14:00~16:00)		
開催拠点	「しろやまざくら」 水戸医療センター 「ハマナス」 茨城東病院 「友部やまびこ」 県立中央病院 「なでしこ」 水戸済生会総合病院		
代表者氏名	佐藤 好威		
1回の参加人数	平均6~15人	1回の運営スタッフ数	平均5人
参加費(1人1回あたり)	無料		

目的(趣旨)

- がん患者・家族(遺族)及び医療・福祉のスタッフや研究教育者との連携を深め、且つ行政や教育者との共同作業を構築する。

生活課題への対応

- 孤立するがん患者家族のメンタルケアと生活支援
- がんの正しい認識とがん患者への理解をさらに深めるために、サロン開設を院内から、院外・地域へ広める。

内容

- サロン活動の広報による協働対象の拡大
- がん予防推進員、訪問看護師、在宅医療者などとの連携強化を図る。

社会資源の活用

- がん拠点・指定病院との連携
- 数か所の在宅医療機関や訪問看護師との連携
- 福祉関係施設

継続性

- 世話人のモチベーションの維持
- 恒常的活動が出来る為の通常運営費や交通費の確保

財源の確保

- 法人会費(年3,000円)
- 行政等の助成金
- 寄付

先進性

- がん患者・家族以外に、医療者、研究者、教育者等に加え、メディア関係者の知恵と協力を得ている。
- 会員の質的向上を常に図っている。
- 全国課題と地方課題の整合性を図る。

PRポイント

- NPO法人茨城県がん地域医療を考える会は、がん関連民間団体として県内唯一のNPO法人で、医療施設や行政・大学と連携して活動しております。また、がん患者のみならず介護している家族や不幸にして大切な方を亡くした方々のサポートもしております。



しろやまざくら4周年セレモニー

友部やまびこ3周年セレモニー



ハマナス2周年セレモニー

水戸医療センターガーデニング



これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

がんサロンは、患者家族遺族の憩いの場です。予約もありません、出席もとりません。その日その場が集まった方が会員になります。会員のモットーは、「責めず、比べず、思い出す」で、和を前提に開催しています。特に、傾聴を基本にしています。他の人の闘病・看病・看取りの話から学ぶことをお願ひし、開設セレモニーではダンスや踊りや手品などを披露してもらいます。また、種々の楽器を用いたコンサートや合唱も行っています。そして、例会では、各病院の医師、看護師、栄養士、薬剤師、作業療法士、理学療法士を招き、様々なテーマで勉強会を行い、何か一つ学んで帰っていただいています。月1回、サロン会員有志により、病院の庭でガーデニングなども行っています。